

5. 成果の論文発表・口頭発表等

平成22年度

1 断層帯の三次元的形状・断層帯周辺の地殻構造解明のための調査観測

a. 制御震源地震探査による地殻構造の解明

- 1) 著者 : Sato, H., T. Iwasaki, S. Abe, H. Saito, T. Kawanaka, and N. Hirata  
題名 : Deep seismic reflection profiling of the subduction megathrust across the Sagami trough and Tokyo bay, Japan,  
発表先 : EGU General Assembly 2010 (Geophysical Research abstract Vol. 12), Viena (Austria), May 2-7, EGU2010-5708, 2010.  
発表年月 : 2010年5月2日～5月7日
- 2) 著者 : Sato, H., S. Abe, N. Kato, T. Ishiyama and T. Iwasaki  
題名 : Result of recent seismic profiling for constructing source fault models in central Japan  
発表先 : G-COE Symposium 2010 Dynamic Earth and Heterogeneous structure, Sendai City War Reconstruction Memorial Hall, Sendai Japan, July 13-15, Tohoku University Global COE Program, 22-23, 2010.  
発表年月 : 2010年7月13日～7月15日
- 3) 著者 : Sato, H., S. Abe, T. Iwasaki, E. Kurashimo, D. Okaya, S. Sakai, T. Kawanaka, N. Hirata  
題名 : Characterization of the upper surface of the Philippine Sea plate beneath Kanto, central Japan: insight from seismic reflection profiling,  
発表先 : 2010 Fall Meeting, American Geophysical Union, San Francisco (USA), Dec. 13-17, T43E-07, 2010.  
発表年月 : 2010年12月13日～12月17日
- 4) 著者 : 佐藤比呂志・笠原敬司・平田 直・岩崎貴哉・加藤直子・伊藤谷生・浅尾一己・木村尚紀・中山俊雄・阿部 進・須田茂幸・川崎慎治・斎藤秀雄・大西正純・川中 卓・井川 猛・太田陽一  
題名 : 首都圏における地下構造探査:堆積平野からプレートまで  
発表先 : 2010 日本地質学会関東支部-日本第四紀学会ジョイントシンポジウム「関東盆地の地下地質構造と形成史」, 日本大学文理学部, 11月20-21, 日本地質学会関東支部, 12-16, 2010.  
発表年月 : 2010年11月20日～11月21日

- 5) 著者 : 石山達也・佐藤比呂志  
 題名 : 伊豆衝突帯-関東平野の第四紀テクトニクス  
 発表先 : 2010 日本地質学会関東支部-日本第四紀学会ジョイントシンポジウム「関東盆地の地下地質構造と形成史」, 日本大学文理学部, 11月20-21日, 日本地質学会関東支部, 33-35, 2010.  
 発表年月 : 2010年11月20日～11月21日
- 6) 著者 : 岩崎貴哉・佐藤比呂志・石山達也・阿部 進  
 題名 : 神縄・国府津-松田断層帯の構造とその活動様式,  
 発表先 : 日本地震学会 2010 年度秋季大会, 広島国際会議場, 10月27日～29日, 日本地震学会, 19-19, 2010.  
 発表年月 : 2010年10月27日～10月29日
- 7) 著者 : Sato, H., T. Iwasaki, S. Abe, H. Saito, T. Kawanaka, N. Hirata  
 題名 : Deep seismic reflection profiling of the subduction megathrust system across the Sagami trough and Tokyo bay, central Japan  
 発表先 : 14th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their margins, Cairns (Australia), August 28 - September 3, Geoscience Australia, 111-111, 2010.  
 発表年月 : 2010年8月28日～9月3日
- 8) 著者 : 阿部 進・佐藤比呂志・岩崎貴哉・平田 直・伊藤谷生・斎藤秀雄・白石 和也・加藤直子  
 題名 : 海陸境界域における反射法地震探査技術の進展と深部地殻構造イメージングの高精度化  
 発表先 : 日本地球惑星科学連合 2010 大会, 幕張メッセ, 5月23日～28日, 日本地球惑星科学連合, SCG088-03, 2010.  
 発表年月 : 2010年5月23日～5月28日
- 9) 著者 : Arai, R. , T. Iwasaki, H. Sato, N. Hirata  
 題名 : Multiple collision and subduction structure of the Izu collision zone: arc-arc collision in central Japan  
 発表先 : The ERI International Symposium on “Subduction systems: structure, seismicity and geodynamics”, Tokyo (Japan), November 10-11, Earthquake Research Institute, The university of Tokyo, 47-48, 2010.  
 発表年月 : 2010年11月10日～11月11日

- 10) 著者 : Sato, H., S. Abe, E. Kurashimo, T. Iwasaki, R. Arai, N. Kato, N. Hirata  
題名 : Geometry of the Philippine Sea slab beneath the Izu Collision Zone, central Japan,  
発表先 : 14th International Symposium on Deep Seismic Profiling of the Continents and their margins, Cairns (Australia), August 28 - September 3, Geoscience Australia, 109-109, 2010.  
発表年月 : 2010年8月28日～9月3日

c. 神縄・国府津－松田断層帯北縁部（箱根火山－丹沢山地）の地震活動と構造

- 1) 著者 : 行竹洋平・伊東博・本多亮・原田昌武, 棚田俊收, 吉田明夫  
題名 : 箱根カルデラ内および周辺域の3次元速度構造－稠密地震観測データを用いて－(ポスター)  
発表先 : 日本地球惑星科学連合2010年大会発表  
発表年月 : 2010年5月27日
- 2) 著者 : 棚田俊收, 行竹洋平, 本多亮, 原田昌武, 伊東博, 永井 悟, 杉原英和, 吉田明夫  
題名 : 伊豆衝突帯である神奈川県西部地域で発生した微小地震および小地のメカニズム解 (ポスター)  
発表先 : 日本地球惑星科学連合2010年大会  
発表年月 : 2010年5月27日
- 3) 著者 : 棚田俊收, 馬場久紀, 行竹洋平, 本多亮, 明田川保, 吉田明夫  
題名 : 採石発破を利用した神縄・国府津－松田断層帯北縁部（箱根火山沢山地）付近の震源決定精度と表層速度  
発表先 : 日本地震学会秋季大会  
発表年月 : 2010年10月28日
- 4) 著者 : 行竹洋平, 武田哲也, 吉田明夫  
題名 : 伊豆衝突帯北縁部における詳細な震源及びメカニズム解分布 (口頭)  
発表先 : 日本地震学会秋季大会  
発表年月 : 2010年10月27日
- 5) 著者 : Yukutake Yohei, Tetsuya Takeda, Ryou Honda, Akio Yoshida  
題名 : Detailed spatial distribution of hypocenters and focal mechanisms in the collision zone of the Izu –Bonin arc  
発表先 : 2010 AGU Fall Meeting

発表年月 : 2010 年 12 月

- 6) 著者 : 白石和也・阿部 進・岩崎貴哉・斎藤秀雄・佐藤比呂志・越谷 信・  
加藤直子・川中 卓,  
題名 : 地殻構造探査における反射法地震探査データを用いた初動走時トモ  
グラフィ解析と初期モデルランダム化による解の評価  
発表先 : 日本地球惑星科学連合 2010 大会, 幕張メッセ, 5 月 23 日~28 日,  
日本地球惑星科学連合, SSS015-06, 2010.  
発表年月 : 2010 年 5 月 23 日~5 月 28 日
- 7) 著者 : 佐藤比呂志・阿部 進・蔵下英司・岩崎貴哉・新井隆太・加藤直子・  
平田 直  
題名 : 関東山地下でのフィリピン海プレートの形状について: 飯能-笛吹測  
線地殻構造探査  
発表先 : 日本地球惑星科学連合 2010 大会, 幕張メッセ, 5 月 23 日~28 日,  
日本地球惑星科学連合, SSS024-06, 2010.  
発表年月 : 2010 年 5 月 23 日~5 月 28 日
- 8) 著者 : 新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志・阿部 進・平田 直  
題名 : 伊豆衝突帯丹沢・御坂地塊の P 波 S 波速度構造  
発表先 : 日本地球惑星科学連合 2010 大会, 幕張メッセ, 5 月 23 日~28 日,  
日本地球惑星科学連合, SSS024-P04, 2010.  
発表年月 : 2010 年 5 月 23 日~5 月 28 日
- 9) 著者 : 阿部 進・佐藤比呂志・岩崎貴哉・斎藤秀雄・白石 和也・河合 展  
夫・加藤直子  
題名 : 海陸境界域における反射法地震探査技術の進展と深部地殻構造イメ  
ージングの高精度化  
発表先 : 平成 22 年度石油技術協会春季講演会, 福岡国際会議場, 6 月 8 日~  
10 日, 石油技術協会, 46-46, 2010.  
発表年月 : 2010 年 6 月 8 日~6 月 10 日

## 2 断層活動履歴や平均変位速度の解明のための調査観測

### c. 地質学的手法に基づく神縄・国府津－松田断層帯北縁部の活断層に関する調査研究

1) 著者：小田原啓・林広樹

題名：神奈川県山北町丸山における活断層調査ボーリング（ポスター）

発表先：日本地質学会第117年学術大会（富山大学）

発表年月：2010年9月

2) 著者：Odawara, K., Aketagawa, T. and Yoshida, A.

題名：Kozu-Matsuda fault system in northern Izu collision zone, western part of Kanagawa Prefecture, central Japan.（ポスター）

発表先：2010 AGU Fall Meeting (San Francisco, USA)

発表年月：2010年12月

学会誌・雑誌等における論文掲載

## 1 断層帯の三次元的形状・断層帯周辺の地殻構造解明のための調査観測

### a. 制御震源地震探査による地殻構造の解明

- 1) 著者：佐藤比呂志・岩崎貴哉・石山達也

掲載論文：プレート境界から分岐した活断層の長期評価：相模トラフ横断地  
殻構造探査

雑誌名：科学, 80, 8, 825-831

発表時期：2010年

### c. 神縄・国府津－松田断層帯北縁部（箱根火山－丹沢山地）の地震活動と構造

- 1) 著者：吉田明夫

掲載論文：箱根の温泉と群発地震と伊豆衝突テクトニクス

雑誌名：温泉地学研究所報告、第42巻

発表時期：2010年12月

- 2) 著者：行竹洋平・武田哲也・吉田明夫

掲載論文：伊豆衝突帯北縁部における震源及びメカニズム解の特徴

雑誌名：温泉地学研究所報告、第42巻

発表時期：2010年12月

- 3) 著者：原田昌武・細野耕司・小林昭夫・行竹洋平・吉田明夫

掲載論文：富士山及び箱根火山の膨張歪と低周波地震活動

雑誌名：火山、第55巻第4号

発表時期：2010年7月

- 4) 著者：Yohei Yukutake, Toshikazu Tanada, Ryou Honda, Masatake Harada, Hiroshi  
Ito and Akio Yoshida

掲載論文：Fine fracture structures in the geothermal region of Hakone volcano,  
revealed by well-resolved earthquake hypocenters and focal  
mechanisms

雑誌名：Tectonophysics, Volume 489

発表時期：2010年6月

マスコミ等における報道・掲載 なし